

2014年度自己点検・評価報告書(シート)

【目標の進捗状況(達成度)評価・報告】(最終年度)

《大学》

担当(記述)部局は、 ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本報告書(シート)の自己点検・評価項目・要素と担当部局は次のとおりである。

対象部局	経営戦略研究科・会計専門職専攻
大項目	1 教育目的
中項目	
小項目	1.0.1 教育目的
要素	高度な会計職業人養成を目的とした専門職大学院(以下「会計大学院」という。)においては、その創意をもって、将来の会計職業人(会計・監査に係る業務に携わる者)が備えるべき高い倫理観、実務に必要な学識及びその応用能力並びに会計実務の基礎的素養を涵養するために、教育目的を明文化すること。
小項目	1.0.2 教育目的の達成
要素	①1-0-1の目的が達成されるように、各会計大学院は養成しようとする会計職業人像に適った教育を行うこと。 ②1-0-1の目的を達成し、1-0-2①の教育を実現するために、各会計大学院は教育の理念や目的を具体的に示し、それらと矛盾しない体系的な教育を施し、その教育を貫徹するために成績評価と修了認定を厳格に行うこと。 ③各会計大学院は1-0-2②が実施されているかどうかをレビューする第三者評価を尊重し、教育目的を達成するための努力を継続して行うこと。

II. 目標の進捗状況(達成度)評価と報告【2014.4.30現在】

《進捗状況(達成度)評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況(達成度)の自己評価を行っている。進捗状況(達成度)評価は、目標の2014年4月30日現在における進捗状況(達成度)の評価(2013年度1年間の活動評価ではなく、2014年4月30日現在で目標がどこまで進んだかの評価)であり、A、B、C、Dの4段階で行ったものである。A、B、C、D評価の基準は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
 B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
 C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
 D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況(達成度)評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 教育目的達成のためのカリキュラムの基本的枠組みとして各開講科目間の関係を文書化する。	→分野別科目群別開講科目数	D	C	A	A	A
2. 厳格な成績評価を行うために、絶対評価を加味した相対評価による成績評価を導入する。そのための評価方針を作成する。	→絶対評価を加味した相対評価による成績評価の導入状況	D	C	A	A	A

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→					
	→					

《進捗状況(達成度)報告》 担当(記述)部局は「指標」に基づいた報告をしてください。

上記で自己評価した目標の進捗状況(達成度)について、次のとおり説明・報告する。

目標1	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 専攻会議にて、履修モデル・科目レベル表について検討した。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 学生の手引きのカリキュラムの箇所に履修モデル・科目レベル表を記載し、各開講科目の関係を明記した。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 明示して学生に周知できているので、上記を継続する。	☆
		その他	☆

目標2	A	Do: 目標を達成するために、目標を設定した年度以降、どのようなことを、誰が、どのようにして、どれだけ取り組んできたか 専攻会議にて、評価方針について検討した。	☆
		Check: 結果はどうであったか。良かった点・効果が上がった点は何か。課題・改善点は何か 学生の手引きの成績評価の箇所に「・・・ただし、合格水準に達しない場合は「F」とする。」という旨を明記し、絶対評価を加味した相対評価による成績評価の導入を達成している。	☆
		Action: 今後どうするのか。伸長策、改善策は何か 上記を継続する。	☆
		その他	☆
			☆
備考			☆